

News 港湾ニュース

■ 庶野漁港衛生管理施設（人工地盤、荷捌施設等）の完成

えりも町 産業振興課

平成 31 年 2 月、第 4 種庶野漁港に地元関係者待望の衛生管理施設が完成し、供用開始記念式典が盛大に開催されました。

1. 衛生管理施設整備の背景

平成 18 年 4 月に庶野、えりも、冬島の 3 単協の合併により、えりも漁業協同組合が発足し、地方卸売市場を有する地方港湾えりも港に加え、第 4 種庶野漁港をえりも岬以東の流通拠点として位置づけ、漁船に滅菌海水やシャーベット氷の精製装置を搭載するなど、水産物の品質、鮮度保持に取り組んできました。しかし、えりもブランドの更なる推進を図るためには、ソフト・ハード両面からの対策が必要な状況にありました。

また、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い最大 5m の津波が来襲し、庶野漁港の多くの施設が被害を受けました。幸い人的被害はありませんでしたが、津波の到達時間が早かったことから、漁業者の安全を確保するため、漁港からの迅速な避難方法の構築が急務となりました。

このような背景から、室蘭開発建設部において、水産物の陸揚げから流通に至る総合的な衛生管理対策の強化を目的とした「屋根付き岸壁」及び「清浄海水導入施設」「用地不足の解消や津波からの一次避難を目的とした「人工地盤」の整備を平成 25 年度から進めるとともに、えりも漁業協同組合が人工地盤内に荷捌施設

を整備しました。整備施設の概要は以下のとおりです。

2. 整備施設の概要

①人工地盤

施設規模：A = 2,805m²(85m × 33m)

高さ：H = 10m

用途(1 階)：荷捌施設、保管・積込スペース

(2 階)：漁港利用者駐車場(82 台)、一次避難場所

②屋根付き岸壁

施設規模：L = 160m、B = 10m

用途：陸揚げ岸壁(サケ、タラ、カレイ、タコ、ツブ、ケガニ等)



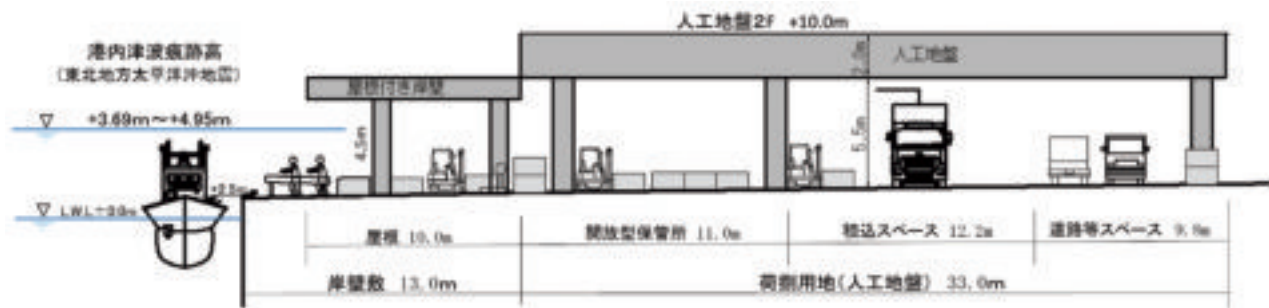
屋根付き岸壁



衛生管理施設全景



清浄海水導入施設（ろ過装置、貯水槽）



③清浄海水導入施設(想定ピーク使用水量 75m³/hr)

取水ポンプ：1 式(港内から取水)

ろ過装置：30m³/hr × 1 基

貯水槽：30m³ × 2 基

④荷捌施設(えりも漁業協同組合)

施設規模：A = 737.5m²(41.2m × 17.9m)

設備：チルド庫、活魚水槽(5t × 4 基)、フォークリフト 2 台

3. 供用開始記念式典の開催

平成 31 年 2 月 23 日(土)に人工地盤 1F の庶野漁港荷捌施設内において衛生管理施設供用開始記念式典を開催しました(主催：庶野漁港衛生管理施設 供用開始

記念事業実行委員会)。式典には約 70 名が出席し、主催者である大西えりも町長の挨拶の後、堀井学衆議院議員、吉塚水産庁漁港漁場整備部計画課長から祝辞をいただきました。

その後、浦河港湾事務所から人工地盤等について、(株)ぎょれん設計センターから荷捌施設についての工事報告があり、最後に来賓や関係者によるテープカットが執り行われました。

衛生管理施設の完成により、「作業環境の清潔保持」「水産物の鮮度保持」等の衛生管理対策について、ソフト・ハード両面からの対応が可能となったことから、今後、えりも町をはじめ周辺地域の水産業の一層の発展に取り組んで参ります。



供用開始記念式典（テープカット）



つばの陸揚状況（屋根付き岸壁）



つばの積込状況（人工地盤 積込スペース）